

ネクスト研修情報 ステップ!!

農林中金アカデミーが、研修に関する耳より情報をお届けします！
キャリア・スキルアップにぜひご活用ください。

新しい通信教育講座・信用事業業務検定試験のご紹介

NEW

窓口テラー講座 窓口テラー検定

本通信講座テキスト

概要 ……金融機関を取り巻く環境が目まぐるしく変化の中、窓口担当者に求められる「お客さまに対する対応」「プロのコンサルタント」という役割は変わりません。本講座はCS（カスタマーサティスファクション＝顧客満足）の向上を軸に、開店前から閉店後の1日の振り返りまでのテラーの仕事の流れ、効果的な窓口セールスの進め方などを学習します。
皆さんの店頭には、最寄りの交通機関の時刻表は備えていますか？

学習ポイント **窓口担当者がJAのイメージを形づくる**

いま金融機関には、取扱業務の拡大、金融サービスの多様化といった変化に対応する戦略が求められています。またお客さま側でも、従来以上に窓口よりもATM利用やインターネットバンキングなどの利用が拡大。窓口担当者との接点が縮小しつつあります。そんな変化の中ですが、窓口担当者の役割はこれまでと変わりません。その笑顔や態度、言葉づかい、対応の良し悪しがそのままJAのイメージとなり、お客さまの評価につながります。本講座で基本的対応、実務知識、コンサルティング能力を習得し、お客さまに信頼され、JAのファンになっていただけるような窓口担当者を目指しましょう。

学習テキスト目次

TEXT No.1

- 第1章 窓口担当者の役割と窓口事務
- 第2章 事務取扱いの基本
- 第3章 貯金取引に付随する窓口業務

TEXT No.2

- 第1章 窓口担当者のセールス
- 第2章 各種商品の仕組みとセールス
- 第3章 個人ローン
- 第4章 年金の基礎知識とセールス
- 第5章 相続税・贈与税のしくみ

TEXT No.3

- 第1章 投資信託業務
- 第2章 JA窓口では取り扱っていない、あるいは取り扱いの少ない業務
- 第3章 JAでは取り扱わない金融商品等



<p>※ 研修生への期待</p> <p>研修生は、研修期間中に、研修生としての役割を担い、研修生としての責任を負う。研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。</p> <p>研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。</p>	<p>研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。</p> <p>研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。</p>
--	---

すぐに活用できる用語集や参考にしていただける具体的事例もあり、分かりやすく学習しやすい構成のテキストとなっています。

研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。

研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。

研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。

研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。

研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。

研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。

研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。

研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。研修生としての責任を負うことは、研修生としての責任を負うことである。



今年度から通信教育講座・信用事業業務検定試験の内容を大きく見直しました。順次、新講座・新検定試験の概要をご紹介します。ふるってお申込みください。

NEW 信用事業基本講座(融資コース) 信用事業基礎検定(融資コース)

概要 …… 本講座は、貯金・為替・融資の3科目で構成していた信用事業基本講座・信用事業基礎検定のうち、融資単独で種目を設定したものです。農業融資などで取り扱う証書貸付、当座貸越などの審査、管理・回収、事務処理などを網羅しており、**一定の業務経験のある方を想定対象者**としています。窓口・渉外担当の方でローンの取り扱いを担当される方には、本講座に先立って「ローン推進講座」の受講をお勧めいたします。

本通信講座テキスト



学習ポイント

取引先理解に基づいた融資でニーズに応える

融資業務がJAバンクの最重要業務のひとつであり、収益の源泉であることを本学習で理解していただけることと思います。いまは規模の大小ではなく、取引先から本当に信頼される金融機関が求められています。取引先の事業実態を十分に理解し、融資や各種の相談を通してお客さまのニーズに的確に対応していくことは、地域の持続的発展につながると共に、JA自身の経営の安定にも寄与することを忘れてください。

学習テキスト目次

- 序章 融資業務の意義
- 第1章 まず、知っておきたいこと
- 第2章 融資取引の種類は？
- 第3章 融資の受付・審査
- 第4章 担保・保証
- 第5章 融資の実行と管理・回収



窓口・渉外 お役立ちコラム

弁護士 川西 拓人 講師

マネロンガイドラインについて

金融庁から2018年2月6日にJAを含む金融機関向けに「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に関するガイドライン」が公表されました。

この背景には、2019年にFATF (Financial Action Task Force、金融活動作業部会)の第4次対日相互審査が予定されていることがあり、金融庁は、監督指針改正や専門部署の設置、立入検査などにより、地域金融機関のマネロンなどの防止態勢へのモニタリングを積極的に行っています。

今回は、このマネロンガイドラインについて、JAの営業店でも最低限知っておくべき事項を解説します。

※なお、前回コラムから民法改正の内容を順次紹介する予定でしたが、マネロンガイドラインの重要性に照らし、今回は上記内容としております。



本コラムの詳細は、当社ホームページをご覧ください。

アカデミーからのお知らせ

県域職員向け研修の募集開始！

現在募集中および5月に募集を開始する30年7月開講の県域職員向け研修は次の6研修です。ふるってご応募ください。

研修名
財務会計基礎
融資法務基本
貯金実務
税務(法人)
住宅ローン推進実践
県域年金推進担当者